

令和6年度 広島大学附属小学校 学校経営方針

【使命（「教育」「研究」「人材育成・社会貢献」）】

1. 学習指導要領に則して、小学校教育の目的を達成する。
2. 附属小学校の教育目標（自主・協同・探究）に従った教育実践を行う。
3. ユネスコスクール加盟校として、グローバル社会に生きる主体を育成する。
4. 小学校教育の理論と実践に関する先端的研究を行う。
5. 大学および国や広島県との連携によって教育実習と教員研修の実施に当たる。
6. 小学校教育の質的向上に寄与する諸活動を展開し、成果を公開する。

【学校経営重点課題】

I. 教育

a. 教育課程

- これまでの研究テーマである「他者を楽しみ続ける主体」を育成するためのカリキュラムをどのように持続・発展させるかについて検討する。
- ユネスコスクールとして「持続可能な開発のための教育（ESD）」を教育活動全体を通して推進する。

b. 教育活動・教育環境

- 児童の特性をふまえつつ、発達に即した教育を行う。特別支援が必要な児童について、支援員の雇用や個別の支援計画の作成等により対応する。
- いじめ防止対策について、学級担任だけでなく、学年間および学校全体で情報を共有して取り組む。
- 大学教員との協働による授業実践研究を行い、教員の指導力向上や学校の教育力向上を図る。

II. 研究

a. 大学との連携

- 広島大学や研究機関と連携することで、新たな指導方法の開発や附属教員の実践研究能力の向上を図る。

b. 研究の推進

- 初等教育カリキュラム開発、初等教育における教科教育研究（教科教育のあり方や授業方法論の探究、実践的研究など）の研究を推進する。
- これまでの教育・研究の実績をもとに、研究開発学校への申請を行う。

III. 人材育成・社会貢献

a. 人材育成

- 小学校の教員を志望する学生のための教育実習の実施、教職大学院の大学院生に対する実践研修など、多様な機会において小学校教員の養成・再教育に寄与する。また、養護教諭を志望する学生のためにも教育実習を実施する。

b. 社会貢献

- 人事交流による公立学校教員の資質向上に貢献する。
- 講演活動や指導助言をとおして小学校教育の質的向上に寄与する。
- 広島市小学校教育研究会の各教科部会へ参加できる体制を整えるなど、教職員同士のネットワークを拡大する。
- 公開研究会，研究紀要の作成，季刊誌（『学校教育』）の刊行，各種の学会や研究会をとおして，教育・研究の成果を公表する。
- 国内外の学校・教育研究機関からの授業観察を受け入れ，教育・研究交流を行う。

IV. 学校運営・働き方改革

a. 学校運営

- 各種会議における情報の共有性を高めるとともに，緊密な教員組織を作り，教員相互の意見交換を活発化することで，学校運営の改善と効率化を行う。
- 学校評価と個人業績評価の実施を通して，学校組織全体の成果を高める。

b. 働き方改革

- 各種会議の位置づけを明確にするとともに，会議時間の短縮に努める。
- 各種行事について，準備や実施の効率化を図る。
- 「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（年間 5 日の年休取得の義務化）に基づき，年休が取得しやすい環境づくりを一層推進する。